



テイ・エス

テック<7313>、今仙電機製作所<7266>をTOBと第三者割当増資  
引受で持分法適用関連会社化



テイ・エス

テックは9日、今仙電機製作所（東証1部・名証1部上場）に対してTOB（株式公開買い付け）を実施すると発表した。本TOBにより現在3.06%の所有割合を25.00%に引き上げて、持ち分法適用関連会社とする。併せて今仙電機が実施する第三者割当増資を引き受け、経営を実効支配できる34.00%へ引き上げる方針だ。

買付価格は1株当たり930円で、TOB公表前日の東証1部における終値634円に46.68%のプレミアムを加えた。買付予定数の上限は520万9500株と設定。今仙電機の上場は維持する予定。買付代金は約48億4483万円。買付期間は11月10日から12月8日まで。買付代理人は野村證券が務める。

公開買付期間の終了後の12月16日から

2021年1月29日までを払込期間とする第三者割当増資に応じる。TOB買付価格と同じ930円で、普通株式520万7300株を引き受ける。取得価額は総額で約48億4300万円。

テイ・エス

テックはホンダ系自動車シートメーカーで、今仙電機はシートアジャスター（調整機構）を主力製品とする独立系自動車部品メーカー。資本関係を強化することで日本国内だけでなく世界中の両社の拠点でのシート事業の強化を図り、両社の売上拡大や付加価値の高いサービスの提供を狙う。